

Race Report

Super GT 2016 Series

Round-6 / 45th International SUZUKA 1000km

伝統の「鈴鹿1000km」で6位入賞

Audi Team Hitotsuyamaは、2016年8月27日、28日の2日間、三重県の鈴鹿サーキットで開催されたSUPER GT第6戦「45th International SUZUKA 1000km」を6位入賞で終えました。

第5戦富士のレースから3週間という短いインターバルのなかで、チームは6時間、1000kmの長丁場に備えて準備を進めてきました。マシンのチェックはもちろんのこと、最低5回のピットストップをスピーディに行なえるよう、スタッフは練習を重ね、この鈴鹿に臨んだのです。



8月27日 予選

午前中こそ雲が空を覆い、小雨がぱらつくこともあった鈴鹿サーキットですが、予選が行われる午後2時30分には夏空が広がりました。

「翌日の決勝がドライコンディションになったときのことを考えて、ダンロップの一番硬めのタイヤで予選に挑みました」とはチーム代表の一ツ山亮次。まずはリチャード・ライアンがQ1へ。今回、46kgのウエイトハンディを搭載しているHitotsuyama Audi R8 LMSを駆り、タイムアタックを行ったライアンは、1分59秒949のベストラップをマーク。この時点で15番手でしたが、その後、順位の繰り上げがあり、急遽14番手でQ2進出を果たすことになります。

その知らせを受けた藤井誠暢とチームクルーは、急いで準備を整え午後3時15分からのQ2に挑みます。ここで順位を2つ上げ、12番手のスタートポジションを手に入れました。

「今回は決勝を見据えて硬めのタイヤを選んでいるために、ライバルに比べタイムは伸び悩みましたが、ウエイトハンディを考えれば妥当な結果でしょう。もちろん、満足はしていませんが」(一ツ山)

予選結果

P1 #18 UPGARAGE BANDO 86 中山友貴／山田真之亮

P2 #31 TOYOTA PRIUS apr GT 嵯峨宏紀／中山雄一

P3 #2 シンティアム・アップル・ロータス 高橋一穂／加藤寛規／牧野任祐

P12 #21 Hitotsuyama Audi R8 LMS リチャード・ライアン／藤井誠暢

8月28日 決勝

決勝日は朝から雨が断続的に降るあいにくの空模様。しかし、決勝直前には雨も上がり、コースも徐々にドライコンディションへと向かっていきました。スリックかレインかタイヤの選択が分かれるなか、Audi Team Hitotsuyamaはスリックタイヤで決勝レースに臨みました。1周5.807kmを173周するレースは午後12時39分にスタート。ライアンは12番手のポジションを維持したままオープニングラップを終え、その後、10番手までポジションを上げます。

前述のとおり、今回のレースでは最低5回のピットストップが義務づけられています。「ピットストップのインターバルを長めにして、5回目のストップをドライバー交替と短い給油だけで済ませることで、最後に差を縮めようと考えていました」と一ツ山。実際、1回目のピットストップをライバルたちよりも遅い30周で行い、見かけ上の順位を4位まで上げています。

ライアンからステアリングを委ねられた藤井も的確なドライブで順調に周回を重ねていきます。「ドライバーには一切ミスがなく、大きくタイムを落としてくるラップもありませんでした。彼らの仕事は完璧でした。また、5回のピットストップもミスはなく、練習の成果が現れたと思います。ただ、GT3勢のなかではトップクラスのタイムで周回を重ねたものの、思った以上にJAF-GT勢が速く、1秒以上速いペースで逃げられてしまい、なおかつ給油時間でも差をつけられてしまうのが辛かった」(一ツ山)

その後も1桁台のポジションを維持し続けたHitotsuyama Audi R8 LMSは、終盤に6位にポジションを上げ、最後のピットストップでライアンから藤井へ。当初の予定どおり、少ない給油だけでピットアウトしたHitotsuyama Audi R8 LMSは、終盤の雨で後続に差を詰められながらもポジションを守り、6位入賞でレースを終えました。

決勝結果

P1 #61 SUBARU BRZ R&D SPORT 井口卓人／山内英輝

P2 #31 TOYOTA PRIUS apr GT 嵯峨宏紀／中山雄一

P3 #0 GAINER TANAX GT-R アンドレ・クート／富田竜一郎

P6 #21 Hitotsuyama Audi R8 LMS リチャード・ライアン／藤井誠暢

チーム代表 一ツ山亮次のコメント

前回のレースで優勝が見えていただけに、連続表彰台の期待を寄せてくださった方も多いと思いますが、6位という結果については、満足すべきでしょう。重いウエイトハンディを積んだ状態で、1000kmという長いレースに挑んだわれわれがGT3勢では3番手でしたからね。大事なレースでしっかりとポイントを稼げたことはなによりです。鈴鹿を走り、ウエイトハンディが思った以上に効いていると感じているので、その影響を最小限にできるようなマシンづくりを進めて、次戦に備えたいと思います。応援ありがとうございました！



Official Facebook page of Audi Team Hitotsuyama.
<https://www.facebook.com/hitotsuyamaracing>